

平成30年度
網走市における景気動向調査
＜第Ⅲ四半期＞

報 告 書

網 走 商 工 会 議 所

目 次

調査要領	1
1. 調査時点及び調査対象期間	
2. 調査対象	
3. 調査方法	
4. 回収状況	
第1章 概況	
1－1. 全体の動き	2
1－2. 業種別の動き	3
第2章 各判断項目回答割合と天気図	
2－1. 業況	4
2－2. 採算	10
第3章 産業別経営上の問題点	
3－1. 回答実数	11
3－2. 回答割合	11
第4章 産業別設備投資の状況	12
第5章 業界の景気動向等その他のご意見	13

調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点：平成30年10月12日(金)～平成30年12月14日(金)
- (2) 調査対象期間：平成30年10月～12月期実施、及び平成31年1月～3月見通し

2. 調査対象

網走市に所在する建設業（30件）、製造業（23件）、卸売業（20件）、小売業（39件）、サービス業（44件）の156社を調査対象とした。

3. 調査方法

調査対象に調査票を送付し、FAX,もしくは返信用封筒による郵送で回答を受ける。

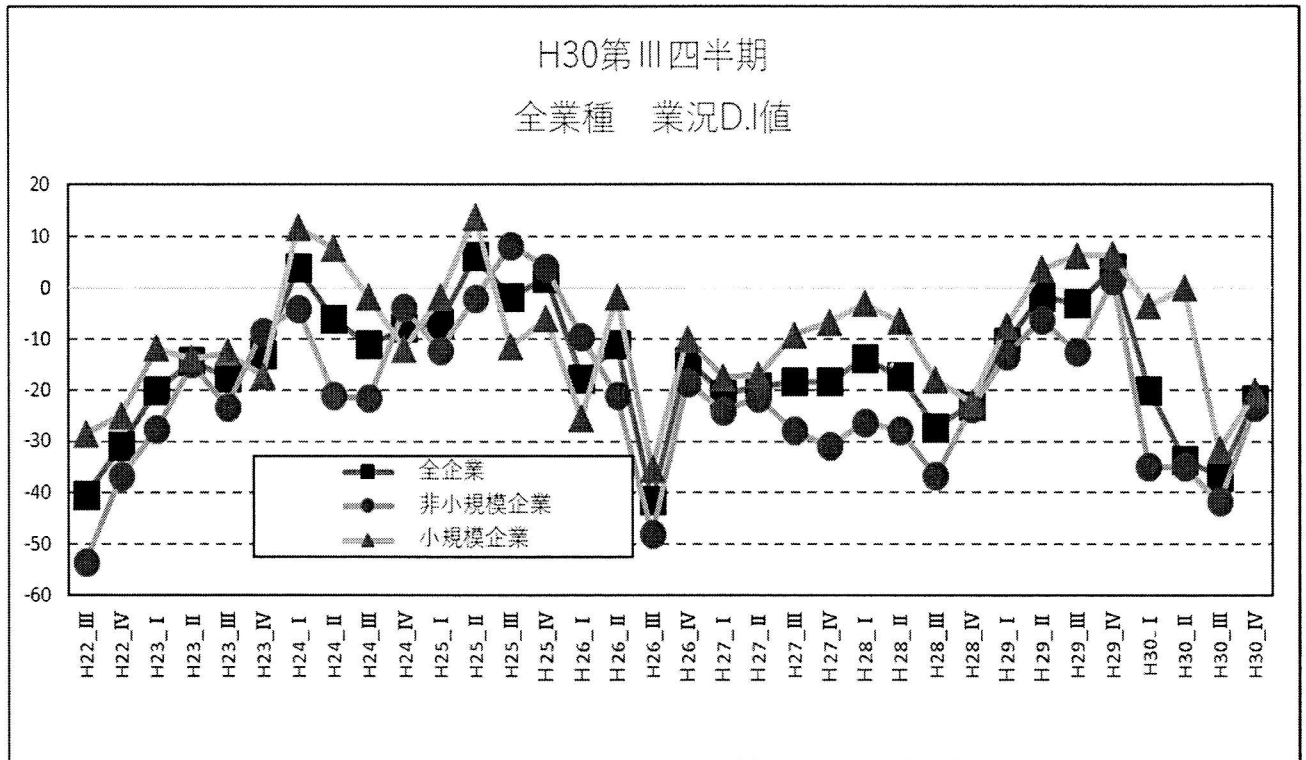
4. 回収状況

業種	企業数	対象企業数	回答企業数	回答率
業種 建設業		30 件	22 件 (非小規模企業:10件) (小規模企業:12件)	73.3 %
製造業		23 件	14 件 (非小規模企業: 8件) (小規模企業: 6件)	60.9 %
卸売業		20 件	14 件 (非小規模企業: 9件) (小規模企業: 5件)	70.0 %
小売業		39 件	30 件 (非小規模企業:15件) (小規模企業:15件)	76.9 %
サービス業		44 件	35 件 (非小規模企業:19件) (小規模企業:16件)	79.5 %
合 計		156 件	115 件	73.7 %

※小規模企業とは、常時使用する従業員が20名以下（卸売業、サービス業は5人以下）を示している。

第1章 概況

1-1. 全体の動き



平成30年度第Ⅲ四半期（10月～12月）の業況は、前年同期比で「好転企業」11.4%「悪化企業」48.2%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I値は▲36.8と前期に比べ3.2ポイント悪化しました。これで本年度3期連続のマイナスとなり、D.I値も徐々に悪化する傾向が続いています。

業種別で見た業況は、建設業が2.1ポイント悪化し▲38.1、製造業は24ポイント悪化の▲35.7、卸売業5.3ポイント悪化の▲42.8、小売業が11.9ポイント改善の▲40.0、サービス業は12.2ポイント改善して▲14.3となり、小売業、サービス業を除くすべての業種で悪化傾向を示し、小売業、サービス業においては改善傾向が見られるものの依然全ての業種でマイナス水準となっています。

次期（1月～3月）の業況判断D.Iは14.8ポイント改善の▲22.0を予想しており、業種別では建設業▲4.8、製造業はほぼ横ばいの▲35.8、卸売業▲21.5、小売業▲36.6、サービス業で▲31.4でサービス業以外の業種で横ばいもしくは改善する予想をたてています。

経営上の問題点としては「人材不足」が全体の56.5%を占め、第Ⅱ四半期との比較でも4.4%増加するなど深刻な問題として度合いを増しています。一方、小売業・卸売業では「得意先（客足）の減少」をあげています。

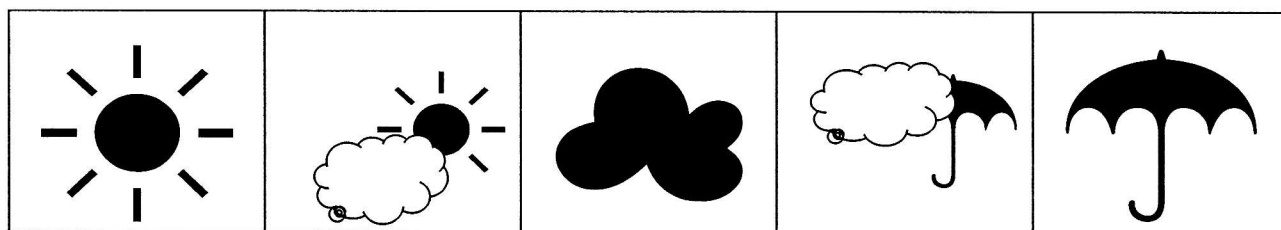
全体としては、3期連続のマイナス水準となり徐々に後退していく局面に入り予断を許さない状況にあります。全業種とも経営改善に向けた対応がより強く求められている状況にあると推測されます。

1 - 2 .業種別の動き

業種	規模/項目	売上高（建設業は完成工事高）			採算			次期（D.I値）		
		増加	減少	DI	増加	減少	DI	業況	売上	資金繰り
建設業	小規模	25.0	50.0	-25.0	18.2	36.4	-18.2	-8.3	-27.3	-18.2
	非小規模	11.1	55.6	-44.4	22.2	66.7	-44.5	0.0	0.0	-11.1
	全体	19.0	52.4	-33.3	20.0	50.0	-30.0	-4.8	-15.0	-15.0
製造業	小規模	11.1	26.3	-22.2	0.0	66.7	-66.7	-50.0	-66.7	-33.3
	非小規模	50.0	20.0	30.0	25.0	37.5	-12.5	-25.0	-25.0	-25.0
	全体	31.6	33.3	5.3	14.3	50.0	-35.7	-35.7	-42.9	-28.6
卸売業	小規模	0.0	60.0	-60.0	20.0	20.0	0.0	-20.0	-20.0	-60.0
	非小規模	25.0	50.0	-25.0	0.0	11.1	-11.1	-22.2	-22.2	0.0
	全体	15.4	53.8	-38.5	7.1	14.3	-7.2	-21.5	-21.4	-21.4
小売業	小規模	7.1	28.6	-21.4	0.0	33.3	-33.3	-13.4	-26.7	13.3
	非小規模	16.7	44.4	-27.8	6.7	60.0	-53.3	-60.0	-33.3	-26.7
	全体	12.5	37.5	-25.0	3.2	45.2	-42.0	-36.6	-30.0	-6.7
サービス業	小規模	11.1	38.9	-27.8	18.8	18.8	0.0	-25.0	-50.0	0.0
	非小規模	19.0	52.4	-33.3	10.5	57.9	-47.4	-5.3	-10.5	5.3
	全体	15.4	46.2	-30.8	14.3	40.0	-25.7	-14.3	-28.5	2.9

第2章 各判断項目回答割合と天気図

記号説明



とくに好調
(D.I. ≥ 50)

好 調
(50 > D.I. ≥ 25)

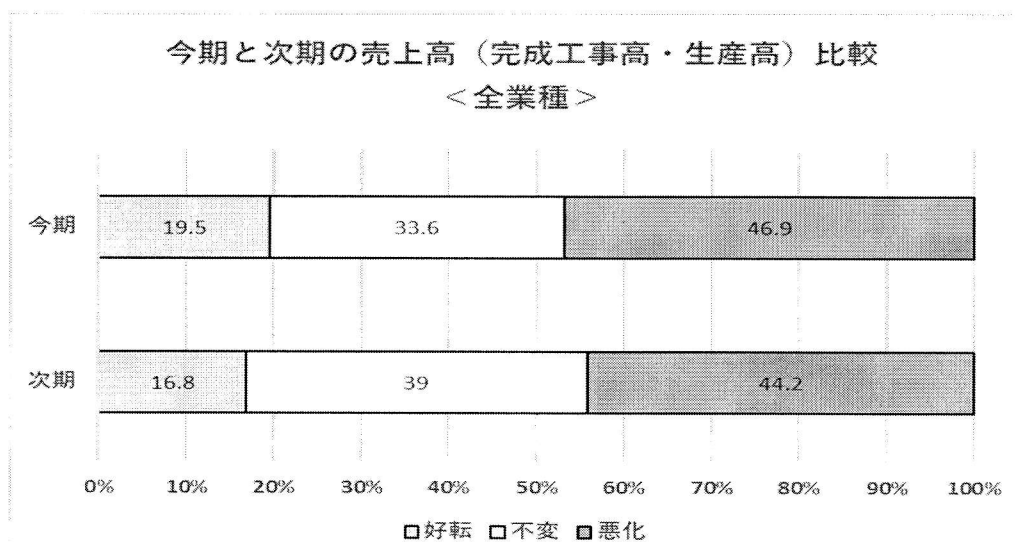
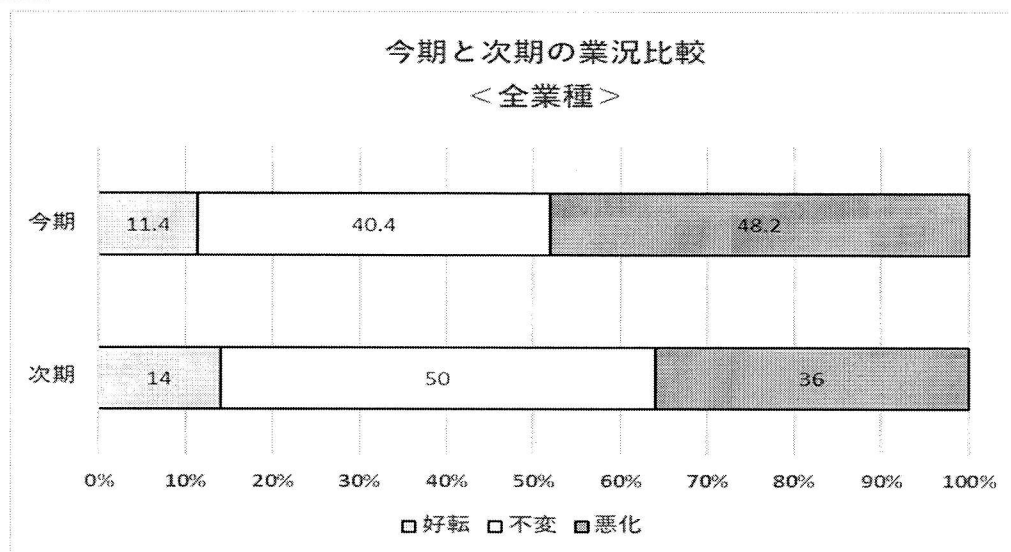
まあまあ
(25 > D.I. ≥ 0)

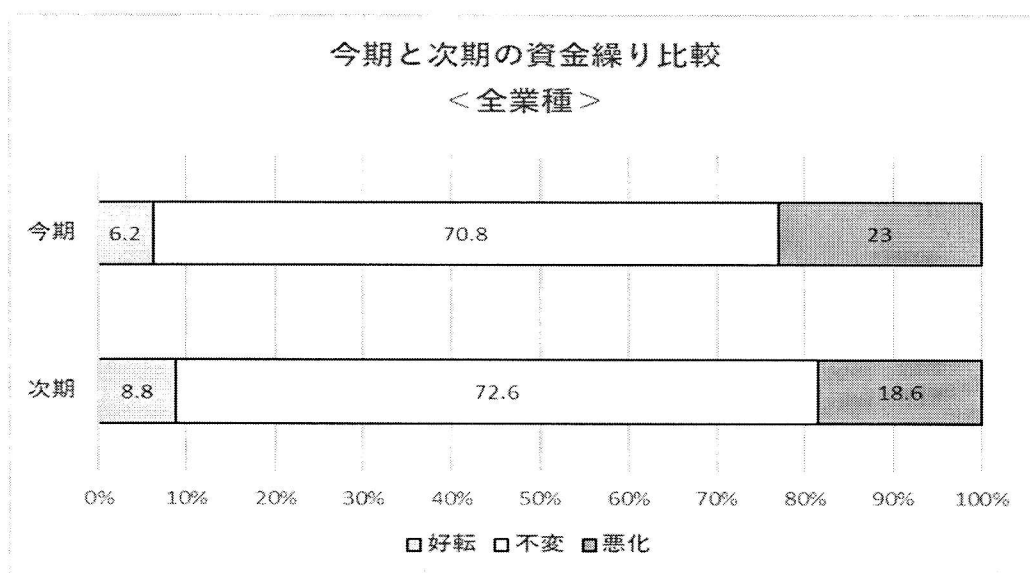
不 振
(0 > D.I. ≥ ▲25)

きわめて不振
(▲25 > D.I.)

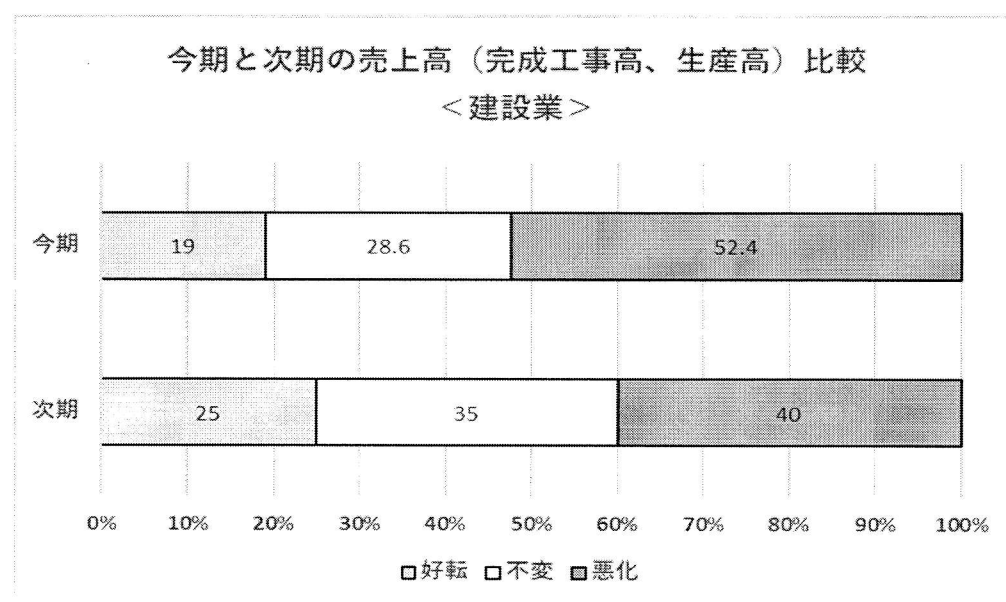
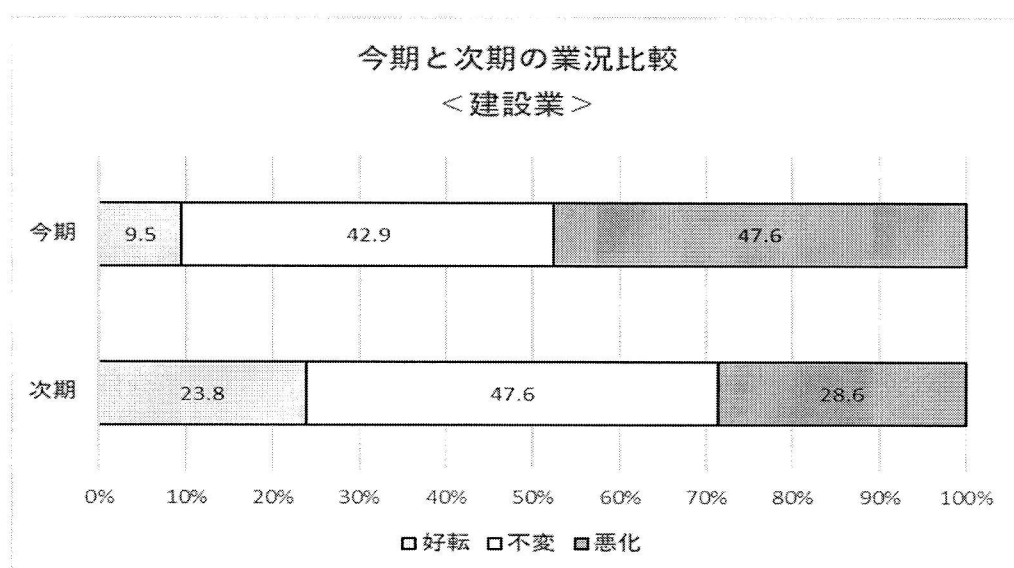
2-1. 業況

全業種



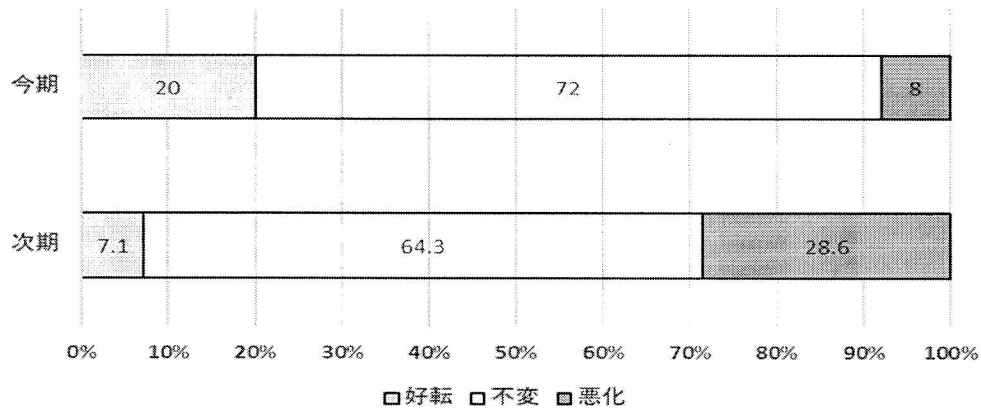


建設業



今期と次期の資金繰り比較

< 建設業 >



1 2.0

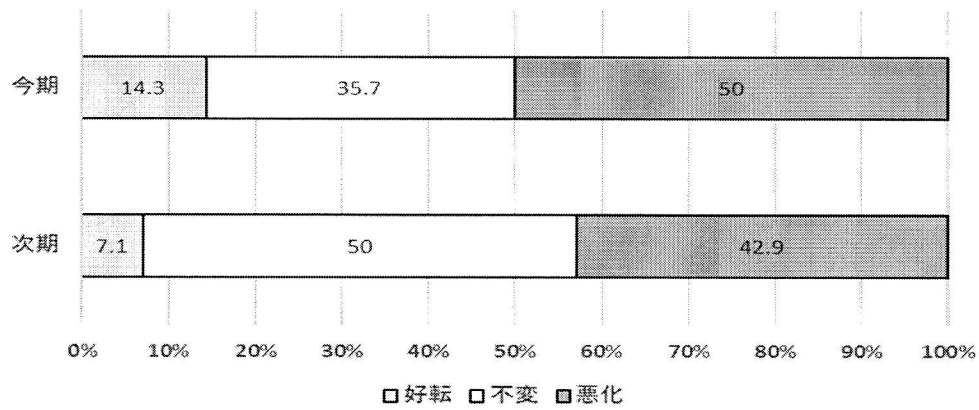


▲ 2 1.5

製造業

今期と次期の業況比較

< 製造業 >



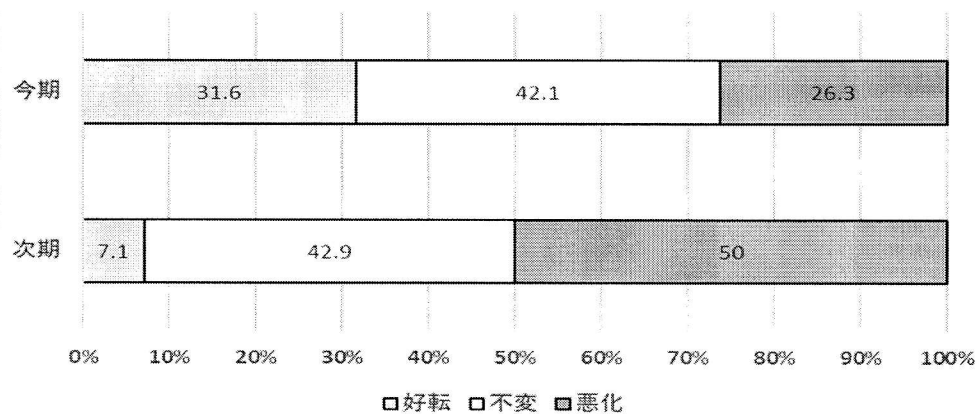
▲ 3 5.7



▲ 3 5.8

今期と次期の売上高（完成工事高、生産高）比較

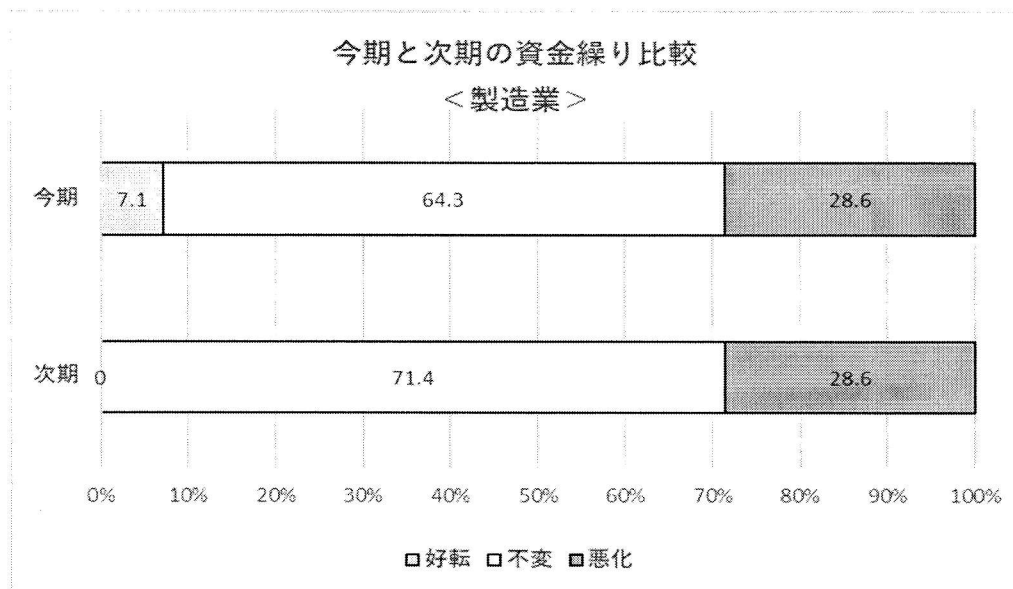
< 製造業 >



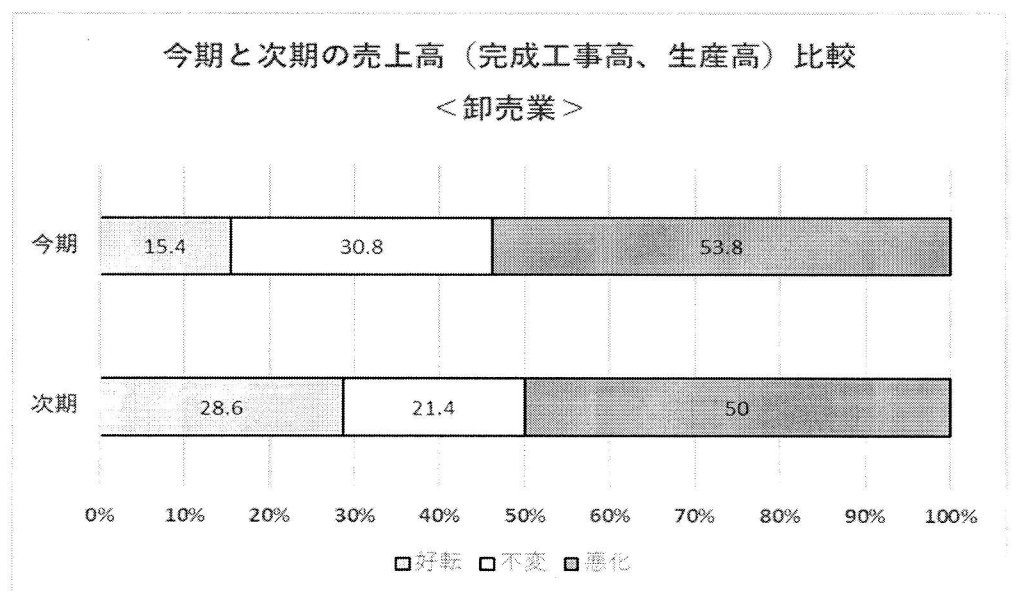
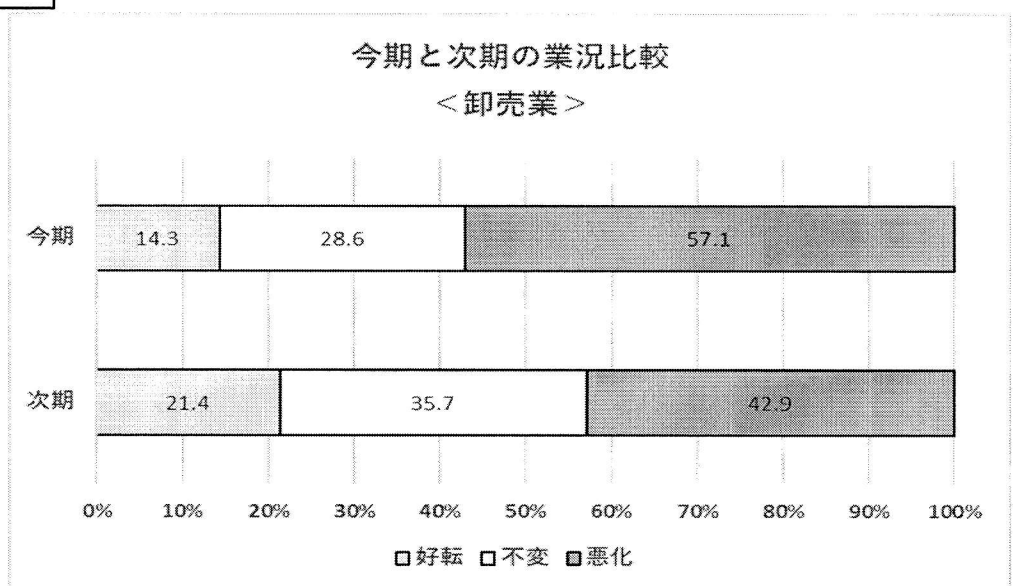
5.3



▲ 4 2.9

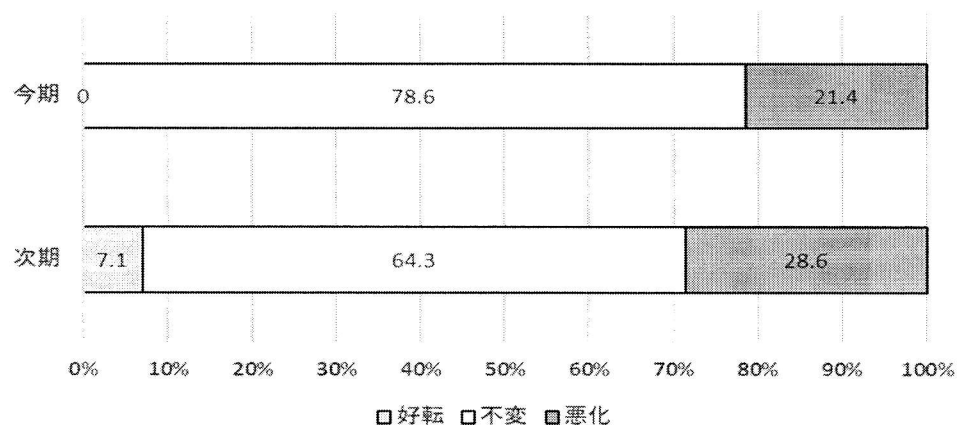


卸売業



今期と次期の資金繰り比較

<卸売業>



▲ 18.8

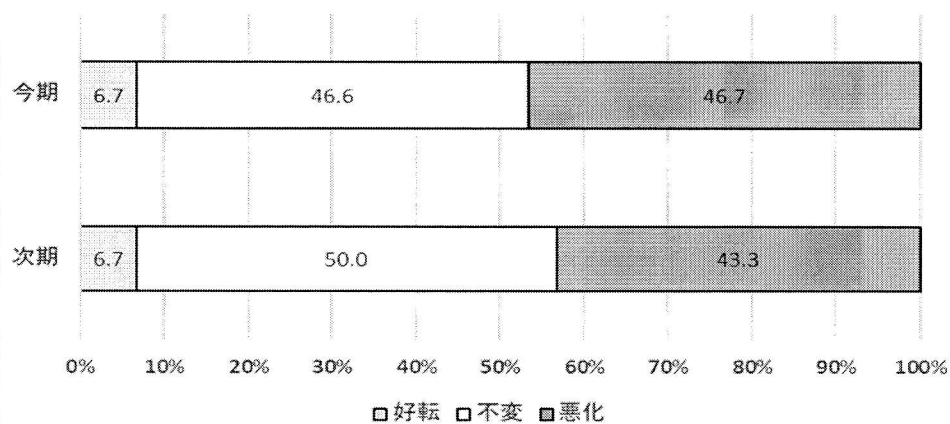


▲ 21.5

小売業

今期と次期の業況比較

<小売業>



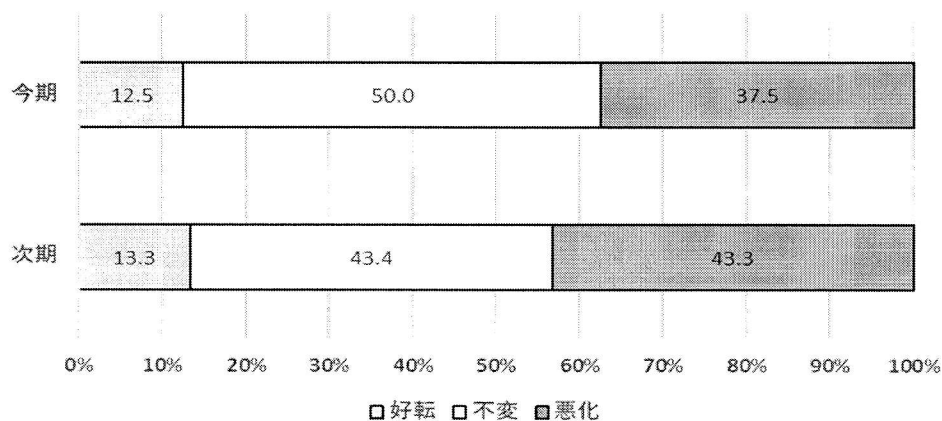
▲ 40.0



▲ 36.6

今期と次期の売上高（完成工事高、生産高）比較

<小売業>



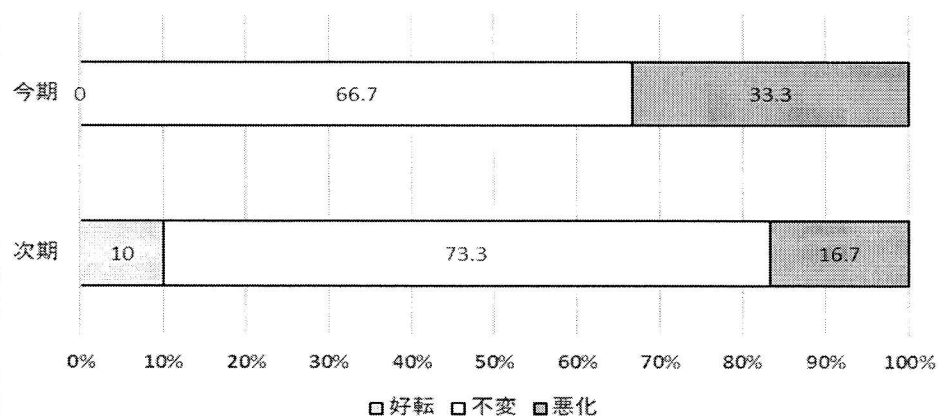
▲ 25.3



▲ 30.0

今期と次期の資金繰り比較

<小売業>



▲ 3 3.3

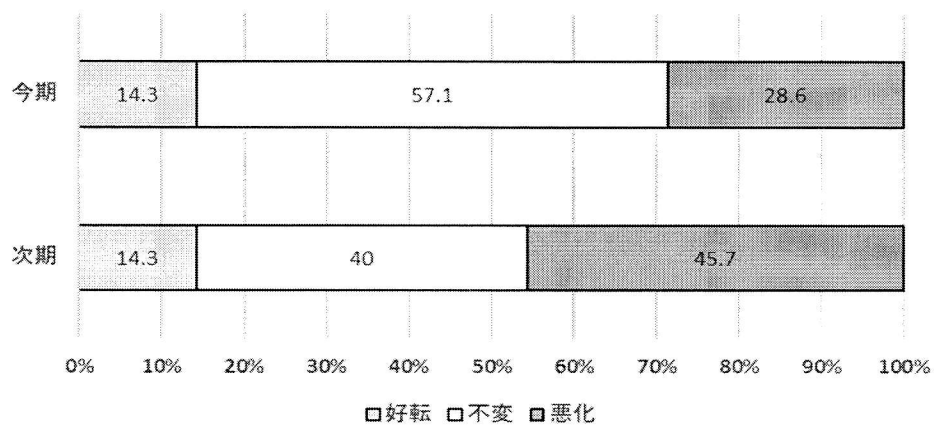


▲ 6.7

サービス業

今期と次期の業況比較

<サービス業>



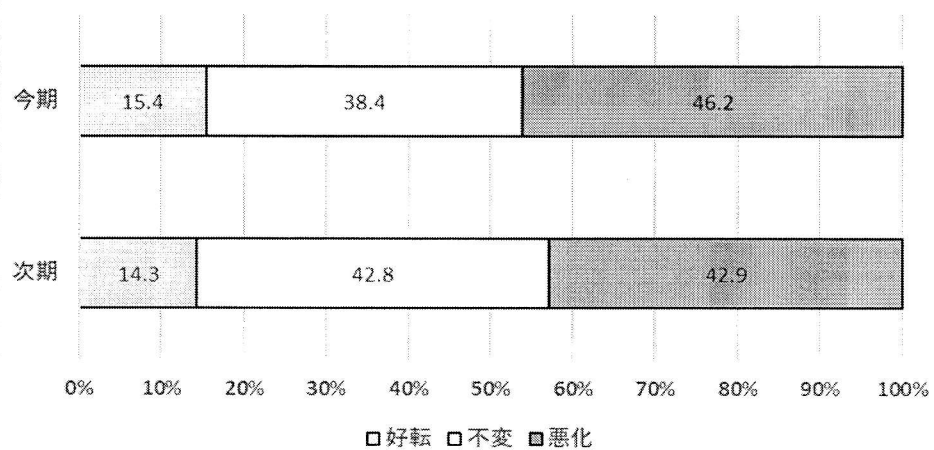
▲ 1 4.3



▲ 3 1.4

今期と次期の売上高（完成工事高、生産高）比較

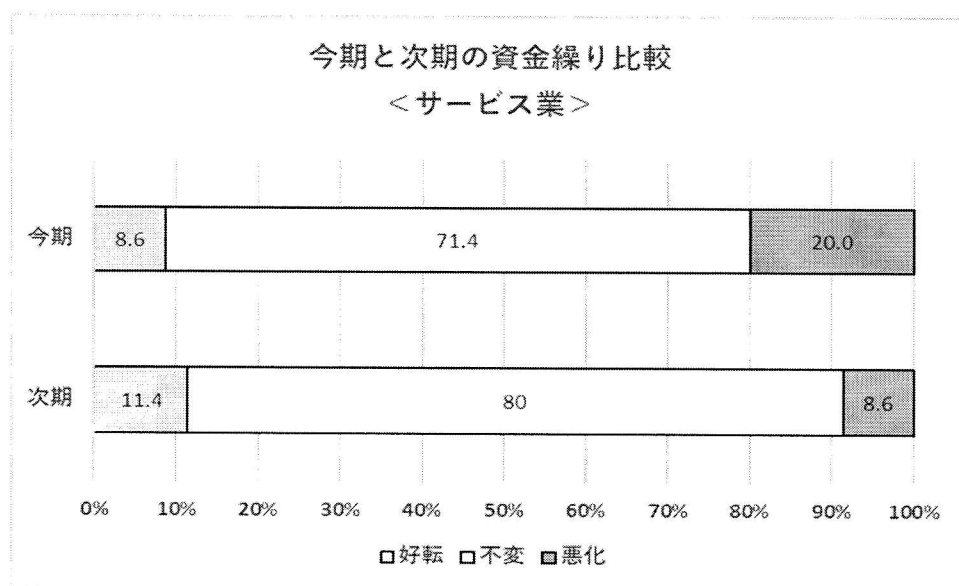
<サービス業>



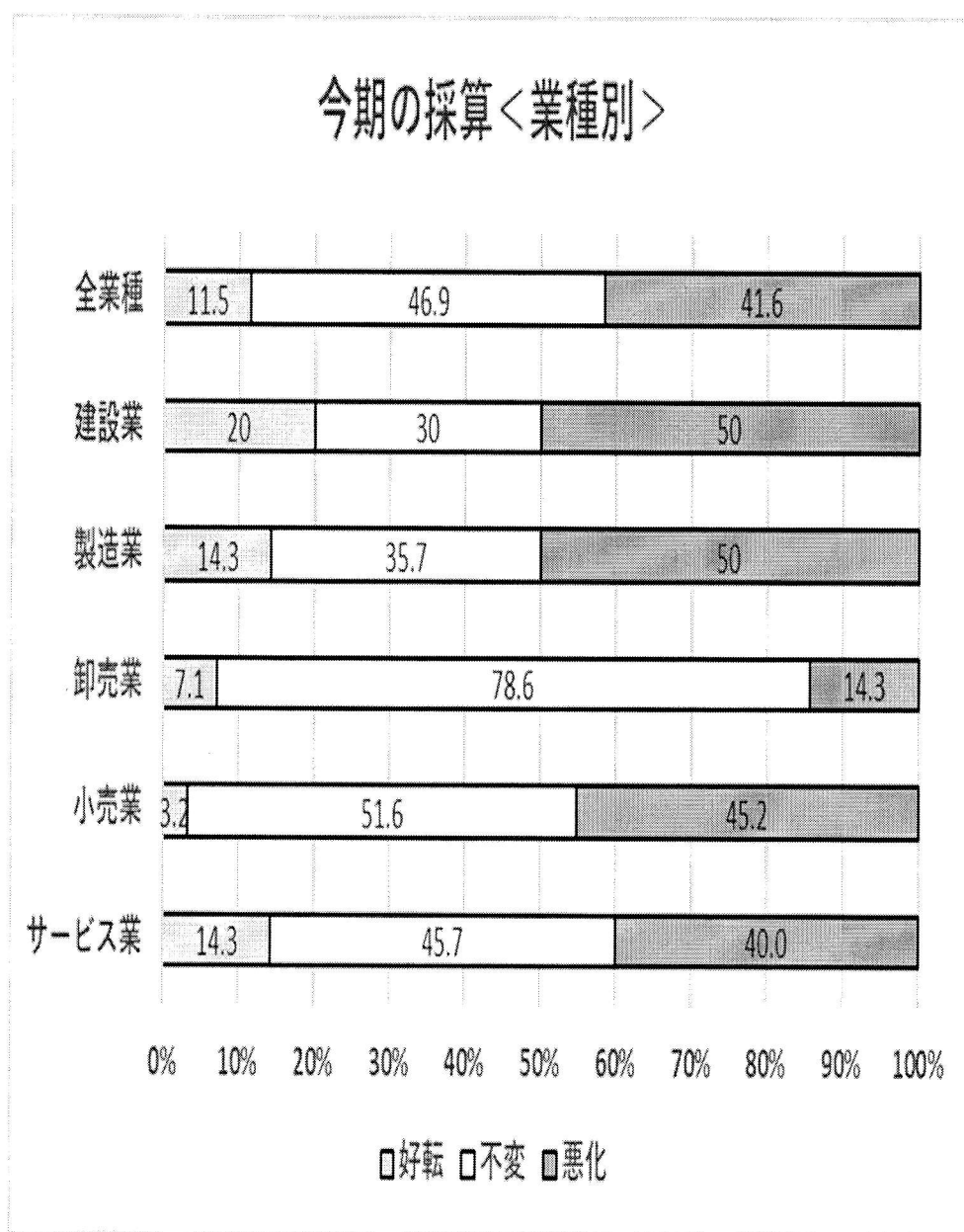
▲ 3 0.8



▲ 2 8.6



2-2. 採算

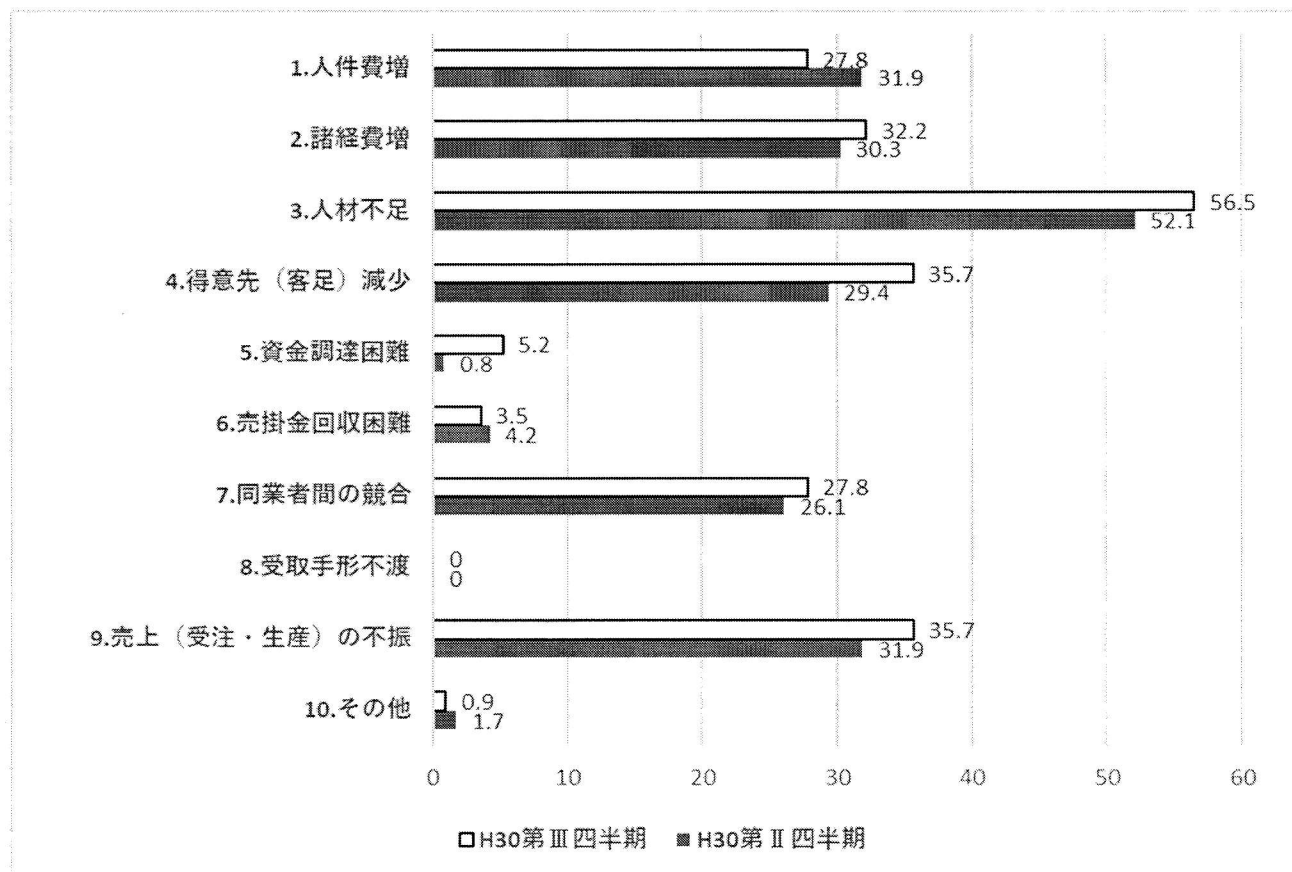


第3章 産業別経営上の問題点

3-1. 回答実数

業種	1位	2位	3位	4位	5位
建設業	人材不足	売上の不振	諸経費増	人件費増	同業者間の競合 得意先減少
製造業	人材不足	人件費増 売上の不振	諸経費増	同業者間の競合	得意先減少
卸売業	得意先減少	人材不足	諸経費増 売り上げの不振 同業者間の競合	人件費増	資金調達困難 売掛金回収困難
小売業	得意先減少	同業者間の競合	人材不足	諸経費増	売上の不振
サービス業	人材不足	人件費増	得意先減少 売上の不振	諸経費増	同業者間の競合 得意先減少
合計	人材不足	得意先減少 売上の不振	諸経費増	人件費増 同業者間の競合	資金調達困難

3-2. 回答割合 (%)



注：複数回答あり

第4章 産業別設備投資の状況

今期の設備投資の有無と設備内容について調査し、業種別に統計しました。

設備投資の有無は表1のとおり、設備内容は表2です。

表1 業種別件設備投資の動向

設備投資	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計
した	3件 13.6	8件 57.1	2件 14.3	3件 10.0	8件 22.9	24件 20.9
しない	19件 86.4	6件 42.9	11件 78.6	27件 90.0	27件 77.1	90件 78.3
無回答	- -	- -	1件 7.1	- -	- -	1件 0.9
合 計	22件 100.0	14件 100.0	14件 100.0	30件 100.0	35件 100.0	115件 100.0

※右側の数字はパーセンテージを表している。

表2 業種別設備投資の内容

設備投資 内容	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス 業	合 計
土 地	1件	-	2件	-	2件	5件
店 舗	-	1件	1件	-	2件	4件
販売設備	-	-	1件	-	1件	2件
車輛運搬具	4件	2件	1件	2件	3件	12件
付帯設備	-	4件	1件	3件	2件	10件
OA機器	-	1件	-	-	1件	2件
福利厚生施設	-	2件	-	-	-	2件
その他	-	3件	-	1件	-	4件

※複数回答があるため、表5-1の合計件数と相違している。

※その他の記述内容（4件

第5章 業界の景気動向等その他のご意見

◎業界の問題点について

【建設業】

- ・ ごくろう様です。毎年現状維持が精一杯です。
- ・ 工事があっても、人材不足と高齢化で大変です。

【製造業】

- ・ 原料不足、労働者不足（女性）。
- ・ 紙の値上げが1月から10～20%となり、各製紙メーカーが発表。しかし、なかなか価格に転嫁できない。
- ・ 業者に工事等の依頼をかけても職人がいないということで仕事を引き受けてもらえない（もしくは納期が長くかかる）※東京オリンピック需要で

【卸売業】

- ・ 原材料、包装資材等の値上がり。

【小売業】

- ・ 仕入れ商品等の値上げが多くなってきた。メーカーの合併も多くなってきた。

【サービス業】

- ・ 宿泊業なので震災による影響が大きかった。しかし12月以降は復興割効果が大きく前年同月を上回ることが出来た。3月以降の入込は厳しい状況である。
- ・ 得意先（客）の高齢化。
- ・ 9月の胆振東部地震以後の客足の回復が進んでいない。12月～1月の忘新年会も賑わいに欠けた。2020年オリパラに向け大きなビジネスチャンスと騒がれる中ラグビーワールドカップもあり、地域あげでの取り組みと情報発信が急務ではないか。
- ・ 客単価を上げたいです。
- ・ 昨年、インターネットにおける広告に関する法律が改正され、今までは規制されていなかった website のホームページなども今後規制されるようになってくるのかもしれない。
- ・ H30.12月は悪かったようです。H31年はどういう年になるのでしょうか？
- ・ 経営者らの高齢化で持続可能な営業（経営）ができるのか、心配。